

大津町区長会会長（大林区長）  
 う さ が わ  
 宇佐川 恵さん

大津町には65の行政区がある。65の地域が持つメリツト、デメリツトは地域の人が一番知っている。これからの地域は、どのように動いていくべきか。区長会長の宇佐川さんに話を聞いた。

## 人と人が触れ合う場所を用意することが必要

**大**津町はいろんな意味で静かですね。自然がつくる「静けさ」もありますし、逆に言えば、何も無い「静かさ」もあります。もっと人を呼べるものがあると良いですね。

10月には大津駅南口もオープンしますが、人が触れ合う拠点になると良いですね。触れ合いを楽しむことができるような拠点を目指してほしいです。駅だけではなく「あそこにくくと楽しいぞ」という場所があると、人と人の交流が盛んになりますからね。

大林区では、公園化事業を進めています。ブランコ、あずまやを作ったり、芝を植えてパターゴルフができるようにしたりして、世代間を超えて楽しめる公園を作ろうとしています。

この町には、日吉神社、上井手・下井手、梅の造花、宿場町など、今でも、歴史と伝統文化が息づいて

います。私はそれを守っていききたいと思っています。

先日、大津まちおこし大学の地域おこし学科の皆さんが「大津南街道ウォーキングマップ」をつくりましたが、あのマップは、町の魅力を楽しく、再確認・再発見していました。魅力を見つけ出すことは、町の宝を発見することです。あれをきっかけにして、住民の皆さんが、北部、中部のマップをつくってみるのも面白いでしょうね。

## 人がつながっていくために触れ合うために地域はある

**と**にかく人と人の触れ合いが一番だと思います。そのための地域活動ですから。何かやりたいけど、できないこともあり

ますが、地域福祉のことも考えて、地域活動を推進していくべきです。多くの地区で地域を活性化させるために活動してほしいですね。蛸がきれいなところ、水がきれいなところ、紅葉がきれいなところ。地域にはさまざまな特色があります。

す。それを生かして活動するため、区長同士の情報交換も行って、区同士の交流も行いたいですね。

区長を始め、本当に地区のことが見えるようになってきました。大津町の人と地域のことで話し込むことも多くなり、地区のことをいつも考えています。例えば、雨が降ったら地域を見て回らないと落ち着かないようになりました。これからも大津町が発展していくために、地域に愛を、地域へ愛を。人の触れ合いを大事にしていききたいと思っています。

# 町の歴史と伝統文化を守り、地域に愛を。

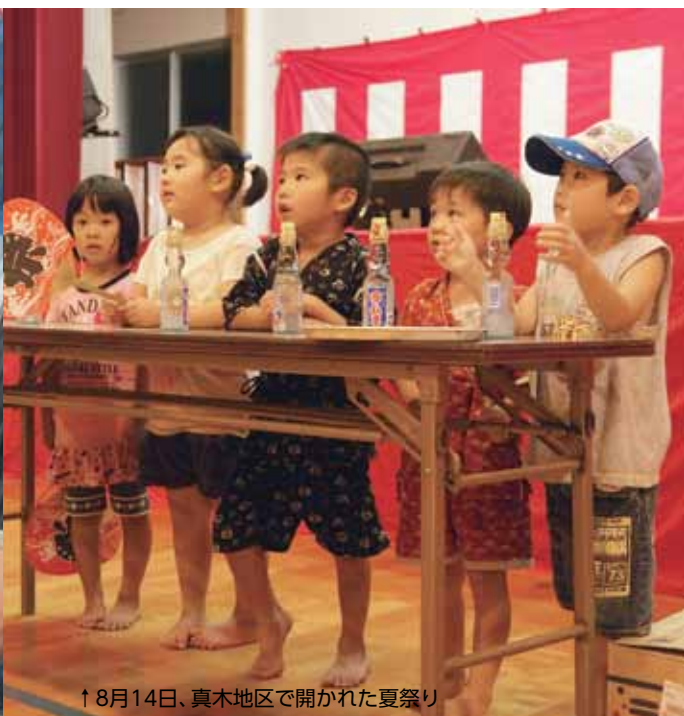


↑定期的に開催される地域福祉推進委員の研修会

## 地域には、豊富な人材が

地域福祉を推進するためには、地域の皆さんの協力が不可欠だ。その協力を得るためには、支援者が必要になる。その支援者として、地域には、区長や区役員、そして民生児童委員や地域福祉推進委員がいる。委員の皆さんは、各地区での地域福祉推進の要となるために年に数回、地域福祉についての研修を重ねている。いわば、地域での旗振り役だ。

その他にも、消防団や子ども会など地域のために活動している人は多くいる。その人たちと一緒に、その地域のすべての住民が、地域のために動くことができれば、明日の大津町はもっと元気になる。



↑8月14日、真木地区で開かれた夏祭り



今年の夏も、町内の各地区で夏祭りが開催された。祭りは、みんなで計画し、準備を行うことで開催することが出来る。どの地域でも多くの人が参加し、世代を超えた地域内の交流を行い、祭りを楽しんだ。

今年だ。地震は（すぐには）来ないだろう。自分の家が火事になることはないだろう。この感覚が「正常化の偏見」だ。

平成22年国勢調査結果速報によると一人暮らし世帯は、1、588万世帯。総世帯の31・2%を占め、初めて一人暮らし世帯が最多となった。

そのために、地域コミュニティの強化が叫ばれるようになったのだろう。コミュニティが強化されれば、人々のつながりが生まれる。つながることは楽しいだけではない、多くの効果が生まれる。

## 人＋人＝∞（無限大）

## これから一緒に前を

それまでトップだった夫婦と子ども世帯は1、458万世帯（総世帯の28・7%）になり2位になった。少子高齢化の波は少しずつやって来て、人々のライフスタイルの変化が進んでいる。

ながりは、高齢者や障害者の人たちが生活する際の困り事にも、災害は発生したときにも良い方向に働くだろう。そして笑顔が生まれるだろう。それが「地域福祉」ではないだろうか。つながることは楽しいだけではなく、多くの効果が生まれる。

「正常化の偏見」という言葉がある。災害心理学では、目の前に危険が迫ってきているのに、または迫ってくる直前まで、その危険を認めようとしない人間の一般的な心理傾向のことだ。自分は長生きするだろう。高齢者になっても子どもが面倒見てくれるだろう。障害者になることは

さあ、今こそつながろう。人と人の間に「プラス」が入れば、つながることが出来る。心がつながれば、私たちにできないことはない。これから、一緒に前を向き続けよう。

特集 プラス 終